働こう障害者も働けるんだオレたちも
こぶしだより
1992年8月3日(月)
第147号
発行
こぶし作業所
宇都宮市柳田町1401
☎0286(62)1911

第6回スポーツ大会
―大穴 市内チームはいかに?!―

去る6月28日(日)、宇都宮市立平石北小学校体育館において、もうこぶしの恒例となりました第6回スポーツ大会が行われました。

参加者は総勢75名過去最高の参加人数となりました。チームは4つ、各送迎コース別に、芳賀チーム、上三川チーム、市内チーム、自力登所チームに分かれ、それぞれ20名位で編成されています。優勝候補は過去4回優勝している芳賀チーム、対抗は過去1回優勝の上三川チーム、ダークホースの自力登所チーム、大穴は市内チームと前評判がつきました。競技種目は作業体験競走、6人制ゴロバレー、食い倒れ競走、つなひきの4種目、作業体験競走は、こぶしの作業ペアリングのローテーションを保護者の方たちにも体験してもらおうと始まった競技で、エプロンをつけ、風船をおしりで割り、ペアリングを作ってゴールというゲームですが、毎年行っている競技であるにもかかわらず、保護者のみなさんはいつもペアリングでつまずいています。(たまにはこぶしに来て一緒に作業してみませんか?!)

この競技アッと驚く大三元、大穴の市内チームがトップに立ちました。続いて6人制ゴロバレー、ほぼ普通のバレーボールと同じルールですが、違う点は、コート内では立ってはいけない、ボールを浮かしてはいけないというところにあります。ここでもびっくりしゃっくり市内チームが2位に入りました。食い倒れ競走はフランスパンを一切れ食べサイダーの一気飲み、アメ食い、ゴールという競技。これはやっている人より周りで見ている人たちの方がおもしろかったようです。最後の競技はつなひき、各チーム総当りの12試合行ない体がギシギシになってしまいました。ところで市内チームの成績は?前半飛ばしすぎたためか、後半息切れしてしまい、最下位はまぬがれたものの3位という成績に終ってしまいました。結局優勝は上三川チーム、終始安定した力を見せていました。優勝候補の芳賀チームは、前半の不振がひびき後半の奮斗にもかかわらず、準優勝に終わりました。最下位に終ってしまった自立チーム、新鋭のチームだったのですが力が出し立れずに終ってしまいました。又、MVPには芳賀チームの鎌田臣一くんが選ばれました。

結果はともあれ、いい汗流した一日でした。

チームワークの良さでみごとVユの上三川チーム

8がつのこよみ

1	(土)	職員会議
5	(木)	
5		宿泊訓練 (鎌田)、佐々木・見目(P)・水沼 海老)
7	(金)	
8	(土)	職員会議
12	(水)	プール (那須野が原ファミリープール)
13	(木)	
5		夏期休暇
16	(日)	
22	(土)	23日の代休
23	(日)	買い物訓練
29	(土)	職員会議

※ 8月の献立表では30日が月曜作業所になっていますが誤りで正しくは23日です。

※ 9/12(土) 分場地鎮祭

シリーズ 作業所生活
ハーブ班の巻

労働とは額に汗して働くこと……誰だ?そんなことを言ったのは?と叫びたくなる作業をしているのが、今年度から新たに始まったハーブ班です。ハーブ班の仲間は7名、「気がやさしくて力持ちの野中班長」、「ちょっと口は悪いけどするどい視点を持つ酒巻副班長」を中心に作業に励んでいます。

朝の打ち合わせが終ると、ため息と共に玄関へ、冷房の効いた作業室で涼しい顔をしているペアリング班へ恨みの視線をぶつけながらビニールハウスへと向います。気温35℃ハウスの室温は想像を絶する温度の中、作業が始まります。漢方薬のしぼり カスをハウスの中で乾燥させる為何度も天地返しをしながら広げていきます。その後はこれまた熱風で乾かす乾燥機へ。10～15分作業をしては休憩をとりながらの作業です。また、材料が入らず作業ができない時も待っているのは空カンつぶし、これまた外での作業の為、暑さに耐えきれず休憩はたっぷりとっています。こんなハーブ班の唯一の特権は、休憩時の冷たい麦茶、この時だけは仲間の顔にもようやく笑顔が戻ります。それでも、この暑さには体が持たず、午後は作業室に入りペアリングの手伝いをしている近頃です。

共作連(共同作業所全国連絡会)
担当からのお願い

① 春に皆さんにお渡ししお願いしていた、国会請願署名について去る6月20日の国会本会議で衆・参両院で採択されました。それに先立って(5/25)行った全政党との懇談会や、長年にわたって国会に要請行動してきた結果です。

一方、当初目標の全国150万人署名と4,000万円募金の100%達成は未だ果たしておらず「年内2度両院採択」という快挙をなしとげ、改めて重い宿題を行政に働きかけることになりました。とりわけ6月の請願には栃木県内の署名は未だ届けることが出来ずにいました。是非、8月中にお手元の署名用紙にご家族、お知り合いのご署名を得てお届け下さい。(なお、時がたって用紙の紛失をしてしまった方は、ご遠慮なくご一報下さい。)

② さらに共作連は現在10,000名の賛助会員づくりに取り組んでいます。(会費年額1口2,000円　現在こぶし関係者で26名加入(92年度加入者))。こぶしの後援会費もあり大変と思いますが、グループホームづくりなど全国的な制度を改善することで「こぶし」の将来も一層切りひらかれることも多いのが現状です。是非ご加入下さい。なお会員になられた方には、毎月情報いっぱいのニュースもお届けします。

ちょっとお知らせ

共同作業所全国連絡会結成15周年記念・オリジナルテーマソングCD発売中!

―共同作業所テーマソング―
「とびらのむこうに」

「この歌は大空を飛ぶ紙ヒコーキです。あなたの空と夢でいつまでも飛びつづけます。」 ▽ACAPO

詞・曲:伊藤豊雄、たなかひろゆき、高田敏
編作詞:ダ・カーポ
作曲:ダ・カーポ
歌:ダ・カーポ

定価 ¥1,000

今年で共作連が15周年を迎えました。その記念としてこのCDを作成、共同作業所やグループホームづくり運動の輪をひろげるキャンペーンとして販売しています。収益の一部は社会福祉全国協会の財源や、公的な援助の乏しい共作業所やグループホームの運営資金として活用されます。又、CDのうぺしで居酒屋"庄や"が一割引に!ご注文はこぶしまで